

## 平成25年第9回国立大学法人旭川医科大学役員会議事要旨

1. 日 時 : 平成25年10月9日(水) 午前9時00分～午前9時22分
2. 場 所 : 第二会議室
3. 出席者 : 吉田 晃敏学長, 松野 丈夫理事, 飯塚 一理事,  
竹中 英泰理事
4. 陪席者 : 宮森 雅司監事, 高野 一夫監事, 久保事務局長, 太田学長政策推進室長,  
社本監査室長, 石川総務部長, 小出教務部長, 千葉病院事務部長  
大石総務課長, 堤企画評価課長, 伊藤会計課長, 藤井施設課長,  
成田経営企画課長, 阪井医療支援課長

議事に先立ち、平成25年第8回役員会(平成25年9月4日開催)の議事要旨が諮られ、これが了承された。

### 報告事項

#### 1. 学長報告

学長から、次のとおり報告があった。

#### (1) 保健系分野(看護学科)のミッションの再定義に関する文部科学省との意見交換について

看護学科のミッションの再定義について、資料1-1のとおり10月2日(水)に文部科学省と意見交換が行われたこと。

意見交換は、文部科学省が作成した本学の素案を大学運営会議で検討を重ね、朱書きで修正を加えた資料1-2とその裏付けとなる資料を基に行われたこと。

文部科学省では、11月を目途にミッションを確定する予定であり、確定後、改めて報告すること。

次いで、久保事務局長から資料に基づき説明があった。

#### (2) 会計検査院による会計実地検査の受検について

伊藤会計課長から、次のとおり説明があった。

①会計検査院による会計実地検査を平成25年10月23日(水)から10月25日(金)までの3日間にわたり、調査官4名により受検すること。

②調査対象期間は平成22年10月から平成25年8月末までであること。

#### (3) 環境報告書2013について

「環境報告書2013」を資料として配付していること。

次いで、藤井施設課長から次のとおり説明があった。

①環境報告書は、環境配慮促進法により、事業年度ごとに毎年9月末日までに公表することが義務づけられており、平成18年度から毎年ホームページで公表していること。内容としては、環境方針や実施計画、環境への取組状況、

事業活動に伴う環境負荷等を記載していること。

- ② 本学の特色ある取組や社会貢献活動などの内容を巻頭特集として紹介し、社会にアピールする構成としたこと。

#### (4) 平成26年度概算要求の概要について

久保事務局長から資料3に基づき次のとおり報告があった。

- ① 平成26年度概算要求の方針については、対前年度当初予算比10%削減し、新しい日本のための優先課題推進枠として30%を特別枠として要望している。
- ② 概算要求額は全体で11,630億円、そのうち優先課題推進枠は910億円となっており、対前年度653億円の要求増となっている。
- ③ 今後の国立大学の機能強化に向けての考え方として、第2期中期目標期間の後半3年間を、改革を加速し改革を完成させようという「加速期間」に位置付けており、大学のガバナンス改革、人材・システムのグローバル化、イノベーション創出のための教育・研究環境整備の推進、人事・給与システム改革の推進を主なキーワードとしている。
- ④ 国立大学の機能強化を推進するため、新規に110億円要求しており、世界水準の教育研究活動の飛躍的充実を図る大学、各分野の抜本的、構造的な機能強化を図る大学など18大学をピックアップして重点要求している。
- ⑤ 国立大学改革強化促進事業については、国立大学改革強化促進補助金170億円と基盤的設備や最先端設備の整備など基盤強化の観点から国立大学改革基盤強化促進費50億円を併せて要求している。
- ⑥ 未来へ飛躍するグローバル人材の育成については、スーパーグローバル大学事業として156億円を新規に要求し、30大学を選定し国際化を図る。また、教育プログラムの国際化として、ロシア、インド等との大学間交流形成の支援に対し、新規に4億円(6件程度)を要求している。
- ⑦ 高度医療人材の養成と大学病院の機能強化として、全体で76億円の要求であり、この中の未来医療研究人材養成拠点形成事業及びがんプロフェッショナル養成基盤推進プランについては継続分のみ要求である。
- ⑧ 課題解決型高度医療人材養成プログラムは、新規で25億円の要求であり、高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供できる優れた医師・歯科医師・看護師・薬剤師等を養成するための教育プログラムである。

引き続き、学長から、本学としても要求できるテーマについては、予算の確保に努めたい旨発言があった。

## 2. その他

竹中理事から、次のとおり報告があった。

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムに関して、9月から旭川教育委員会と連携によるオープンカレッジが始まったこと。財団法人旭川しんきん地域振興基金との共催による経済財政白書に関する講演会を9月28日(土)に開催したこと。

### 次回の開催予定

学長から、次回役員会は、平成25年11月13日（水）9時00分から開催すること。